

おとなのためのネット学習会

～子どもを取り巻くイマドキのネット・ゲームと影響について～

11/30 (土) 15:00-17:00 (川津小学校 視聴覚室) 参加者 14名

講師 NPO法人 あそび環境 Museum アフタ
フ・バーバン
専任スタッフ 北崎圭太さん



講師から スマホにいきつく時代的背景の説明、また「ネット問題」に対する疑問・違和感の話のあと、グループにわかれ、「ネットショッピング」「ネット世界から飛び出したコンサート」「無人自動車」など社会のなかの身近なものを対象として「ありやなしや」と離しつつ様々な角度で参加者が意見をいいあい、自分たちの価値観、便利さや人のつながりを考えた。

それを根底には体ネットの問題とはなんなんだろう？ という本質の話に入っていた。

1. 問題提起 - 3つの違和感から -

■違和感その1 「ネットやケータイは問題だ！子どもが被害に遭うから・・・」

- ・ケータイ安全教室との違い「安全・安心」に「ご利用頂く」ための話ではない。
- ・安全教室・警察の被害防止教室では教えられない。

「被害」が問題の本質ではない。加害・主体性も問題→ 迷惑画像の投稿・出会いサイトと自分・朝イチのFAX・小6の3DS事件

⇒ 問題の本質は、被害ではない。ヒトの「心につけこむ」ということ

⇒ それについて誰も有効な対処法を見いだせていない。

■ 違和感その2 「(ネットを批判する)あなたはネットを使わないのか？」

- ・ゲームもポケベルからPHS、ケータイもたくさんやってきた。けれど、生まれたときはなかった。現実の、生身の関わり・あそびをやってきた。電話も、告白も…だから比べることができる。おとなが便利に使うならOK。

今の子どもたちは、生まれた時からネット・ゲームがある。選べない。

そして、いろんな面倒なことを、便利にしようとしている。

人と関わる・自分の頭で考える・工夫して遊ぶ

⇒ (ネット批判・廃絶ではなく)今の、日本の、子どもの問題として話をすべき！

■ 違和感その3 「へー、怖いですね。でも私(の世代)には関係ないですよ」

- カタカナがよく分からない。なんだか怖いし、関係ない。
好きな人・子どもがやることには、口出しできないし、関係ない。
よく知らない、分からない、CM でいいと言っているから買い与える。

⇒ 全てのおとなが無関係ではない！！一人一人にやるべきことがあるはず！



ネット問題の本質の構造と、動かすもの・支

払う代償を講師から再び話しがあり、実際におこ

った事件等もふまえ、「そもそも論（そもそも学校はなんのためにあるか 携帯ネットはなんのためかなど）」そこまでみんなが考える必要があるのではないかと課題を投げられた。

タバコはおとなになってから・・・なのにこれだけ有害といわれ検証もでているネットや携帯・スマホについて規制が全くかかからないのはなぜ？

子どもたちが「新人類」とおもっていた私たちが「アナログ・エイリアン」と若い世代から呼ばれている現実・・・。

問題ではとおもっていても対岸のこととおとな世代が動かなくては・・・と参加者が改めて自分の問題として考える時間となった。

<参加者の感想>

・インターネット、ゲームのこと、日頃から、犯罪に巻き込まれないように・・・制限をしてふれさせない等・・・と対処法ばかりを考えていました。

気になりながらも、どこからどんな風に考えていけばよいのかまとまらず悩んでいました。

今日のお話を聞いて、すっきり。

「そもそも、子供が育っていくためには・・・」

現実社会は楽しいよ、現実社会の良さを感じられるような様々な体験・経験の場を用意していきたいです。一人一人の力は小さくても、一人一人の力を合わせていけば、きっと一歩が踏み出せる、扉が開けるような気がしました。考える機会を与えていただき、ありがとうございました。

・幼いときのさまざまな経験を積み重ねてきたおとなと、これから経験を積む子どもたちとはネット・ゲームの影響力が違う。インターネットや各種ゲーム、スマホが広がり、本来の意図するものが排除されつつある。

生まれたときからネットやゲームがある時代に生きている子どもたち。“そもそも”〇〇はこうなんだよと本来の経験することの積み重ねができるようにおとなが関わるのが大切。

ネット・ゲームは酒・たばこと同じように考えることが子どもにもおとなにもわかりやすい。こう伝えよう！

便利だから使い慣れている自分自身も使い方に配慮したい。学習会の時間を振り返り、自分の子育てのことを振り返りました。

おもしろかったり、便利なものを使わないようにすることはそうとう難しいと思うので、もうひとつの扉を

自分でも開けることができるように子育てしたいと思った。

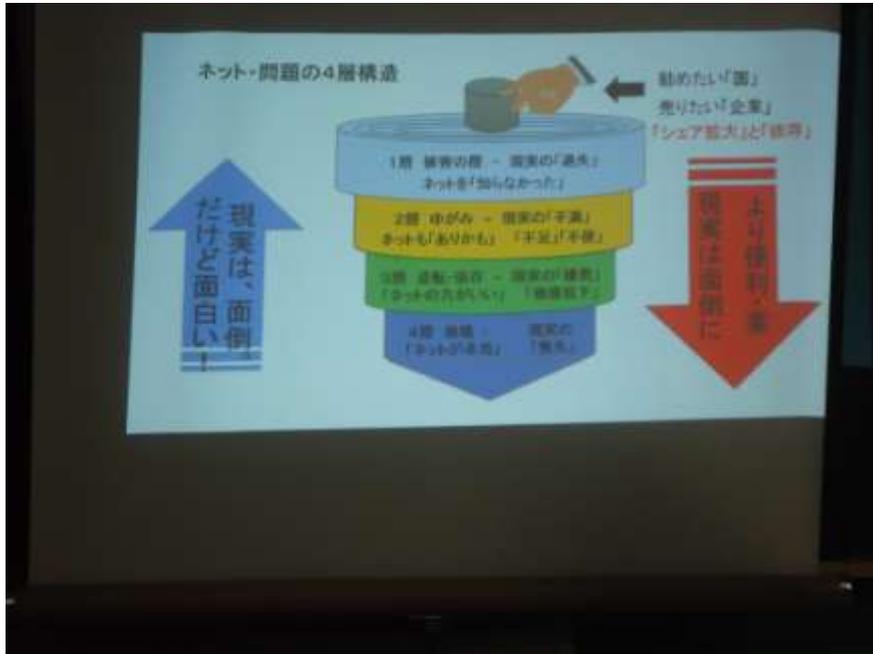
そして、無関係と思うおとながないように、“そもそも〇〇とは” “ほどほどに” の発信をしつつ、おとなの一人として関わることを焦らず諦めないでやっていきたい。

・導入のところで、「ありやなしや」でグループ討議して、「はっ！」と思うような感じで、ネット社会の超高速な流れに飲み込まれながらも、でも、まだ、何か私たちは、「気づける！」と感じたところです。研修でも、いつも感じることですが、おとなが変わることの必要性・・・また、今回もそう感じました。

おとながいけんですね～。そもそもや、当たり前や、常識ということ、個人の自由や権利という名のもとに、うるさかって、聞かなくなってきたところからおかしくなっちゃったような気がします。

そもそもや、当たり前や、常識も人それぞれわからなくなっているのも現状です。何でもアリですもん！おかしいですよ～。で、おかしいって言うと、言ったものが悪くなる・・・ほんとおかしいです。悪循環です。

語り伝えることをやめてしまった？聞くことをやめてしまった？日本人はすでに末期にさしかかっているのかもしれない。人のぬくもりや、温かみの中にこそ、幸せや、成長や・・・なんだろう？・・・



生きるという醍醐味があるというのに・・・それが、めんどくさくてうざいことならば、なんて悲しいことなのか・・・

そんなことを感じ、いろいろまた考えさせられました。

そうして、結論！！今を、素敵だって語れるように、自分が幸せであること！笑顔であること！人との一期一会を大事にできること！生きることを楽しめること！そんな感性を磨けること！そう思った、研修でした。

講師さんにありがとう！とお伝えください。あなたの思いは十分伝わりました。キュンってしましたよ。そして、私も同じ気持ちです。誰かに、伝える作業をしていこうと思います。少しでも、一瞬でも、思いを共感できる仲間が波紋のように広がることを願って、行動あるのみですね。やり続けること！語り続けること！あきらめないこと！

一緒にがんばりましょう。

・良い悪い 必要不必要 年齢 世代 など個々の立場で考え方は様々ですが「そもそも」に立ち返り考えれば答えはあるのかな？と本当に思いました 複雑に考えずシンプルな事なんですよ 大人も知る努力と諦めない気持ちが大切

今実際生徒がトラブルに直面しているので昨日の勉強会は参加して良かったです。

・私たちも、小学生のころから、少しずつゲームが出てきて、楽しくて遊んだものですが、確かに飽きてきたり、もっとたくさんの人と遊んだほうがおもしろくて、はまることはありませんでした。でも昨日の話で

スマホは飽きることなく、バーチャルの世界を他人と共有して遊ぶことができるから、子供のころの本当の人との関わりの中で感じるあったかみを経験してもらいたいです。また、生活のなかで壁にぶつかっても、やめたいにならないような、支えあいや励まし合いができる関係を作ってから、便利を経験してほしいです。よくわかる学習会でした。

・私はネットをしてないので、講座を聞いてもわからないだろうと、一応出てみるか、というスタンスで参加しました。講師の気持ち、とてもストンと胸に落ちました。全くおっしゃるとおり・・・ヒトは現実に関わり、人の間で暮らせなければ人間には成れません。生身の人間どうしの関わりには煩わしい事も多く、私たち日本人のおとなも避けたがる傾向に有ります。ここで敢えて、生身の関わりを求める行動に参加しなければ、と勇気を頂きました。